人とのつながり、地域での活動等に関する調査

_ 調査ご協力のお願い __

本調査は、本県における地域住民同士のつながり・信頼、地域住民の社会参加状況等を把握し、今後の地域づくりに関する学びの場の充実に向けた基礎データとするものです。

ご多用中まことに恐縮ですが、この調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、この調査結果は統計的に処理し、皆さまの回答を個別に公表することはございません。

新・とちぎ学びかがやきプラン推進プロジェクトチーム(事務局:栃木県教育委員会生涯学習課)

本調査における「地域」のとらえ方について

本調査における「地域」とは、おおむねご自身の居住する自治会・町内会、もしくは共同で活動している連合自治会・町内会の範囲でお答えください。

以下の問1~問5の質問にお答えください。回答は直接この調査票に記入してください。

- 問1 人と人との交流・つながりについてうかがいます。
- (1) <u>人と直接会って話をしたり、一緒に活動したりして、交流・つながりをもつこと</u>について、どのように考えますか。**あてはまるもの1つ**に○を付けてください。

ア 大切だと思う

ウ どちらかと言えば大切だとは思わない

イ どちらかと言えば大切だと思う

エ 大切だとは思わない

- (2) 地域の方とどのようなお付き合いをされていますか。あてはまるもの1つに〇を付けてください。
 - ア 互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力し合っている人もいる
 - イ 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている
 - ウ あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
 - エ 付き合いはほとんどしていない
- (3) **地域のどのくらいの人と面識・交流**がありますか。**あてはまるもの1つ**に○を付けてください。
 - ア 地域の大半の人と面識・交流がある
 - イ 地域の半分程度の人と
 - ウ 地域のごく少数の人とだけ
 - エ 面識・交流はほとんどなく、隣の人もよく分からない
- (4) <u>友人・知人 (地域内外を問わず) との付き合い・交流</u>はありますか。<u>あてはまるもの1つ</u>に○を付けてください。
 - ア 日常的にある(ほぼ毎日)

ウ ときどきある(月に1回程度)

イ ある程度頻繁にある(週に2~3回)

エ あまりない (年に数回以下)

問2 人への信頼についてうかがいます。

- (1) <u>地域の人は信頼できる</u>と思いますか。それとも<u>注意をするに越したことはない</u>と思いますか。<u>あて</u>はまるもの1つに○を付けてください。
 - ア ほとんどの人は信頼できる
- ウ どちらかと言えば注意をするに越したことはない
- イ どちらかと言えば信頼できる
- エ 注意をするに越したことはない
- (2) <u>一般的に人は信頼できる</u>と思いますか。それとも<u>注意をするに越したことはない</u>と思いますか。<u>あてはまるもの1つ</u>に○を付けてください。
 - ア ほとんどの人は信頼できる
- ウ どちらかと言えば注意をするに越したことはない
- イ どちらかと言えば信頼できる
- エ 注意をするに越したことはない

問3 地域での活動への参加についてうかがいます。

(1) 現在、以下の $\mathbf{a} \sim \mathbf{d}$ の項目への参加状況について、それぞれ**あてはまる数字1つ**に〇を付けてください。

	週に 3回以上	週に 1~2回	月に 2~3回	月に 1回程度	年に 数回程度	参加して いない
a 地縁的な活動 自治会、町内会、婦人会、老人 会、青年団、子ども会育成会等	1	2	3	4	5	6
b グループやサークル活動 スポーツ・趣味・子育て・講座 修了者で立ち上げたもの等	1	2	3	4	5	6
c ボランティア、NPO、市 民活動 まちづくり、福祉、スポーツ指 導、環境保護、防災・防犯等	1	2	3	4	5	6
d その他の団体活動 商工会、業種組合、宗教、政治 等	1	2	3	4	5	6

- (2) <u>上記問3 (1) a~dの1つでも1~5に○を付けた方</u>にうかがいます。活動に参加して<u>どんなことを得ました</u>か。**あてはまるものすべて**に○を付けてください。
 - ア 達成感・充実感を味わえた
 - イ 知識やノウハウが豊かになった
 - ウ 地域・社会に対する貢献ができた
 - エ 価値観を共有できる仲間ができた
 - オ 地域のさまざまな人とのつながりができた
- カ 地域への愛着が深まった
- キ 地域・社会のしくみや問題がわかった
- ク 活動の成果を実感できた
- ケーその他 下の()内に具体的にお書きください。

~	地域での祭り、イベント、伝統行事等 への参加! こ○を付けてください。	犬況についてうかがいます。 あてはまるもの1つ
		、イベント、伝統行事等はあるが参加していない ている祭り、イベント、伝統行事等がない
	人と 交流するときによく利用する施設・場所 に~ ○を付けてください。	ついて、 あてはまるもの (主なもの3つまで) に
イウエオカキ	公民館(宇都宮市の地区市民センターを含む) 自治会が運営する集会所(自治公民館を含む) 図書館 博物館 生涯学習センター 小中学校 高等学校 大学等の高等教育機関	ケ コミュニティセンター コ 子育て支援センター サ 男女共同参画センター シ ボランティアセンター ス 公園・運動公園 セ 民間のスポーツクラブ・ジム ソ その他 下の()内に具体的にお書きください。
(5) <u></u>	也域での活動について感じていること がありまし	したら、下欄にお書きください。
	生まい の地域について感じていることについて あなたの地域は まとまりがある と感じますか。 あ	
ア	とても感じる イ 多少感じる	ウ あまり感じない エ 全く感じない
(2) ‡	也域に 愛着や誇り を感じていますか。 あてはまる	らもの1つ に○を付けてください。
7	とても感じる イ 多少感じる	ウ あまり感じない エ 全く感じない
(3)	この地域にも 今後も住みたい と思いますか。 あ っ	てはまるもの1つ に○を付けてください。
1	ア 住み続けたい イ どちらかといえば住み続けたい	ウ どちらかといえば住み続けたくない エ 住み続けたくない
	なたご自身のことについてうかがいます。 あなたの <u>性別</u> について、 <u>あてはまるもの</u> に○を作	けけてください。
	ア 女	イ 男
	っなたの 現在の年齢(回答時の満年齢 で結構です 0 に○を付けてください。) は、以下のどれに該当しますか。 あてはまるも
	ア 29歳以下	エ 50~59歳
1	イ 30~39歳	才 60~69歳

ウ 40~49歳

カ 70歳以上

(3) あなたのお住まいの市町を以下から選んで、番号に○を付けてください。

県南	【下都賀地区】 【安足地区】	1 壬生町 7 佐野市	2 野木町 3 : 8 足利市	岩舟町 4 小山	山市 5 栃木市 6 下野市	i
県央	【河内地区】 【上都賀地区】 【芳賀地区】	9 宇都宮市 14 益子町	10 上三川町 15 茂木町	11 鹿沼市 16 市貝町	12 日光市 13 真岡市 17 芳賀町	
県北	【塩谷南那須地 区】 【那須地区】	18 矢板市 23 那珂川町	19 さくら市 24 大田原市	20 那須烏山市 25 那須町	21 塩谷町 22 高根沢町 26 那須塩原市	•
	県 外	27 その他(男)(市町村	名等)

(4) あなたの**現在のお仕事等**について、**もっともよくあてはまるもの1つ**に○を付けてください。

ア 自営業

エ 専業主婦・主夫

イ 常勤職員(会社員、公務員等)

才 学生

ウ 非常勤職員(臨時・パート・日雇い等)

カ 仕事はしていない

(5) あなたは今の地域に、**合計してどのくらいお住まい**ですか。**あてはまるもの1つ**に○を付けてく ださい。

ア 5年未満

エ 21~30年

キ 51年以上

イ 5~10年

才 31~40年

ウ 11~20年 カ 41~50年

(6) あなたが**同居している家族**について、**あてはまる人すべて**に○を付けてください。

ア配偶者

エ孫・ひ孫

キ配偶者の親

イ 子ども

才 祖父母

ク 自分の兄弟姉妹

ウ 子どもの配偶者

カー自分の親

ケ配偶者の兄弟姉妹

(7) あなたが**よりよい地域をつくるために必要だと思うこと**がありましたら、下欄にお書きください。

調査全体を通して、お気付きの点がありましたら、下欄にお書きください。 ☆

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

お問合せ先

栃木県総合教育センター生涯学習部 栃木県教育委員会事務局生涯学習課

TEL 028-665-7206

FAX 028-665-7219

TEL 028-623-3408

FAX 028-623-3406

平成25年度新・とちぎ学びかがやきプラン推進事業プラン推進プロジェクトチーム委員名簿

No.	区分	所 属	役職	E	E	名	
1	学識経験者	宇都宮大学地域連携教育研究センター	准教授	佐々木		英	和
2	高等教育機関	大学コンソーシアムとちぎ (作新学院大学女子短期大学部)	教授	西	田	直	樹
3	生涯学習	太平少年自然の家	副主幹	中	田	伸	幸
4	関連施設	県立博物館人文課	特別研究員	篠	﨑	茂	雄
5	河内	上三川町中央公民館	主査	杉	Щ		昇
6	441 1. 1	河内教育事務所ふれあい学習課	社会教育主事	福	田	隆	行
7	上都賀	鹿沼市教育委員会生涯学習課	生涯学習係長	鈴	木	隆	志
8	工即貝	上都賀教育事務所ふれあい学習課	副主幹	伊	藤	洋	<u>-</u>
9	芳賀	益子町教育委員会生涯学習課	生涯学習係長	河	原		平
10	万貝	芳賀教育事務所ふれあい学習課	社会教育主事	築		真	也
11	下都賀	岩舟町教育委員会社会教育課	主事	野	尻	博	之
12	11414月	下都賀教育事務所ふれあい学習課	副主幹	秋	Щ	貴	子
13	塩谷南那須	さくら市教育委員会生涯学習課	生涯学習係長	佐	藤	康	夫
14	塩付用が須	塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課	社会教育主事	江	田	清	水
15	117 /石	那須町教育委員会生涯学習課	課長補佐	室	井	健	_
16	那須	那須教育事務所ふれあい学習課	副主幹	田	代		充
17	安足	足利市教育委員会生涯学習課	副主幹	鷲	津	康	弘
18	女足	安足教育事務所ふれあい学習課	副主幹	塚	田	良	雄

事 務 局

No.	区 分	所 属	役 職	氏	名
1	事務局	栃木県教育委員会事務局生涯学習課	課長	上田	裕 司
2		II .	主幹兼課長補佐 (総括)	仲 山	1 浩 正
3		栃木県総合教育センター生涯学習部	部長	篠原	孫 章
4		II .	副主幹	近 藤	正
5		II .	社会教育主事	添谷	元 良
6		II .	IJ	佐 藤	孔 之
7		栃木県教育委員会事務局生涯学習課	副主幹	丹 浩	1 良行
8		II .	IJ	井上	計量幸
9		II .	主査	西形	孝 子
10		II	社会教育主事	稲田	l 健 男

平成26年度新・とちぎ学びかがやきプラン推進事業プラン推進プロジェクトチーム委員名簿

No.	区 分		役 職	氏		彳	7
1	学識経験者	宇都宮大学地域連携教育研究センター	准教授	佐々	木	英	和
2	高等教育機関	大学コンソーシアムとちぎ (作新学院大学女子短期大学部)	教授	西	田	直	樹
3	生涯学習関連施設	芳賀青年の家	副主幹	添	谷		敦
4	土佐子白渕建旭餀	県立博物館	特別研究員	篠	﨑	茂	雄
5	河内	河内教育事務所ふれあい学習課	社会教育主事	森	戸		敦
6	上都賀	上都賀教育事務所ふれあい学習課	副主幹	伊	藤	洋	1
7	芳賀	市貝町教育委員会生涯学習課	課長補佐兼 生涯学習 担当係長	ЛI .	又	孝	宏
8		芳賀教育事務所ふれあい学習課	社会教育主事	築		真	也
9		小山市教育委員会生涯学習課	生涯学習係長	町	田	行	雄
10	下都賀	栃木市教育委員会生涯学習課	課長補佐兼 生涯学習チー ムリーダー	中	Щ	幸	夫
11		下都賀教育事務所ふれあい学習課	副主幹	秋	Щ	貴	子
12		那須烏山市教育委員会生涯学習課	生涯学習担当 主幹兼総括	水	沼		透
13	塩谷南那須	塩谷町教育委員会生涯学習課	課長補佐兼 生涯学習担当	神	Щ	直	行
14		塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課	副主幹	江	田	清	水
15	那須	那須塩原市教育委員会生涯学習課	副主幹· 指導主事兼 社会教育主事	吉	田	_	志
16		那須教育事務所ふれあい学習課	副主幹	和	田	淳	子
17	安足	安足教育事務所ふれあい学習課	社会教育主事	近	藤	正	和

事 務 局

No.	区分	所 属	役 職	氏		彳	
1	事務局	栃木県教育委員会事務局生涯学習課	課長	上	田	裕	田
2		II	主幹兼課長補佐 (総括)	仲	Щ	浩	正
3		栃木県総合教育センター生涯学習部	部長	猪	瀬	清	隆
4		II	部長補佐	近	藤		田
5		II	副主幹	添	谷	元	良
6		栃木県教育委員会事務局生涯学習課	課長補佐	平	野	紀	子
7		II	社会教育主事	粕	谷	知	之